

教科	算数	単元名	資料の特ちょうを調べよう
----	----	-----	--------------

本時のねらい

ソフトボール投げの記録をまとめた2つの表から、どちらのクラスの方がよく飛んだといえるのかを考える活動を通して、データを多面的に見て比べることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・オクリンクを活用し、表から読み取った自分の考えを友だちと交流する。
- ・互いに考えを見せながら自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることで、自分の考えを深める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・大型モニター
- ・デジタル教科書（算数、日本文教出版）
- ・学習支援アプリ（オクリンク）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○2クラスのソフトボール投げの表から今日の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて 1組と2組の記録を比べ、どちらが飛んだのか考えよう</div>	
展開 (25分)	○オクリンクにある2つの表を比べて、どちらのクラスの方が飛んでいるのかを自分で考える。 ○一覧を見てくわしく聞きたい考えを書いた友達と交流する。 ・自分の考えを深める。 ・友達の意見を聞きに回る。 ・自分でじっくり考える。	・複数の意見がある場合はカードをコピーして、1つのカードに1つの考えを書き込むようにする。 ・紙の表も用意して、紙かタブレットかを児童が選べるようにする。 ・友達の意見を聞きながら、その場でタブレットに書き込む。
まとめ (15分)	○考えたことを共有し、どちらのクラスのソフトボール投げがよく飛んだといえるのかを全体で考える。 ○考えを書いた全カードを教員に送信する。	・友達の意見を手元のタブレットで見ることで、データの多様な見方や考え方への理解を深める。

1人1台端末を活用した活動の様子



大型モニターを利用して、課題の説明を全体で行っている場面



個人で考えをタブレットに書き込んでいる場面



聞きたい考えの児童のところに集まり、説明を聞いている場面

児童生徒の反応や変容

- ・自分が書きこんだ表をクラスの友だちと積極的に見せ合い、お互いの考えを説明していた。考えがまとまらない児童は、友だちの考えを聞いて、まとめ方を学び、自分のタブレットに考えを書き込むことができていた。
- ・友達の考えを一覧で見て、くわしく聞きたい考えを書いた友達のところへ行き、積極的にたずねている姿が見られ、多様な考えを知ることができた。
- ・全体で共有していると、「平均で考えると1組だけど、2組の方が遠く投げている子が多い」という考えにたどり着き、既習事項である平均の考えでは答えが出せないという結論からさらに考えることができ、学習の本質に迫ることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・児童は、自分の考えを発表する際に大型モニターへ直接映すことができるため、思考時間を十分に確保することができる。
- ・全体交流中は、タブレットに自分の考えを書いてしまい、発表を聞いていない児童がいた。そのため、周りの友達の意見と自分の意見を共有する際はタブレットを使用し、全体交流するときは黒板と大型モニターを使用するなど、タブレットを使用する場面を分けることが大事だと思った。
- ・今までは発表する一部の児童の考えしか全体共有できなかったが、タブレットを使用することで瞬時に多様な意見に出会わせることができた。そのため、多角的に教材と向き合うことができ、児童がお互いの意見を言い合える話し合いの場を持つことができた。